

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	ゼン・マスター	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.490	△RG	0.051	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：ゼン・マスター**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番

**比較対照ボール：ゼン**

フレアーの幅  インチ

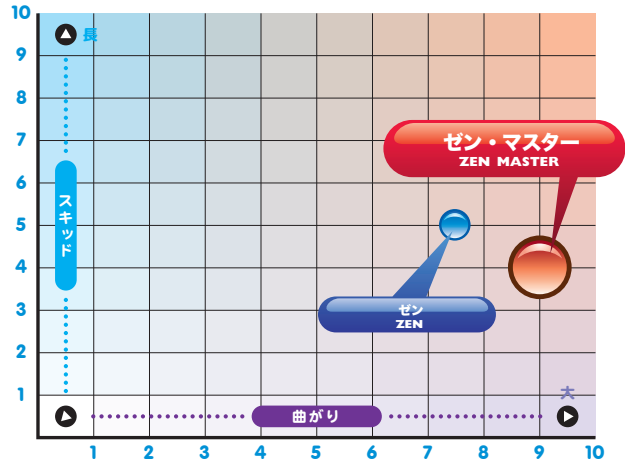
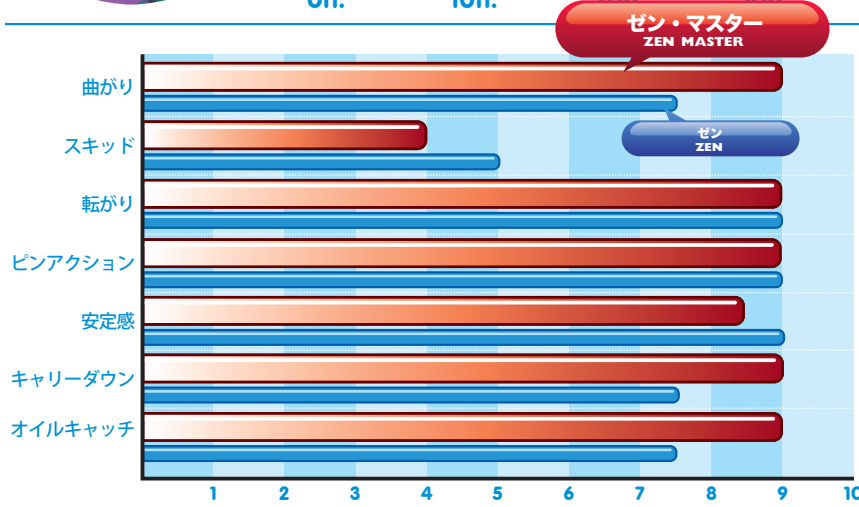
PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

### ボールの評価

2020年12月に発売されたZENは新開発の対称コアとS77 Response Pearlカバーストックの組み合わせで、初めての銘柄ながらもジワジワと人気があがり、気が付けば供給量が足りない事態になりました。この時期から900GLOBALの生産拠点がサンアントニオ工場からユタ工場に移り、さらなるエッセンスをボールパフォーマンスに加えることができたことで、日本のみならず世界的なシェアでもこれから900GLOBALの評価はさらなる高みへと昇ることでしょう。

今回発売するZEN MASTERは、コアはそのままのMeditate Symmetricコア、カバーストックがS77 Response PearlカバーストックからS77 Response Solidカバーストックに変更されたことで、初代ZENにはなかった性能が導きだされました。私のZENのイメージは中盤から強いトルクがかかり、しっかり軸移動するボールであり、リアクション的に派手さはないが堅実なラインを取れる実用性の高いボールの印象でした。しかし今回SolidカバーでリニューアルされたZEN MASTERは、Solidカバーながら後半に角度のあるリアクションを伴うものに変更され、同じ領域でありながらPearl素材とSolid素材の今までの認識を変更させられるものとなる印象を持ちました。まずSolidならではのキャッチは強く、オイルに対しての許容範囲はZEN(Pearl)よりもはるかに上回ります。しかしバックエンドの動きはZENよりもZEN MASTERはのほうが明らかにシャープさとアグレッシブさを感じます。3000アブラロン仕上げでDull過ぎない加工とのマッチングだと思いますが、プレーキ感の無駄のなさがピンヒットまでのパワーに変換されていて、非常にアグレッシブにボールが運動しているのが見て取れます。Solid=動きが緩慢とか出し戻しのラインが取り辛いなどの従来の認識はZEN MASTERには当てはまりません。900GLOBALのシリーズの中で差があったREALITYとZENの間に入るスペックですので、ぜひご検討ください。

### 特記事項

**Solidカバーに変更されたことで、コントロール性能のイメージからアグレッシブな攻撃的イメージになりました。REALITYをお持ちでない方は、ZEN MASTERを持っておくとコンディション攻略に幅が出ます。**